

第 28 回中小企業活性化研究会・交流会開催報告

Report on the 28th meeting for the study of small and medium-sized enterprise

中小企業交流実行委員会、公益社団法人日本技術士会 提携 千葉県技術士会

1 はじめに

第 28 回中小企業活性化研究会・交流会が、平成 24 年 2 月 14 日、千葉市において開催、研究会参加者は、企業関係者 66 名、関係官庁・団体など 40 名、技術士 130 名、合計 236 名に達した。その後の交流会も 131 名の皆様で和やかに行われた。

2 大会の概要

2.1 見学会

午前中に行った千葉大学サイエンスパークセンター(CSPC)見学会には 105 名と多くの参加を得た。

CSPC は、千葉県内の大学、研究機関並びに、新たな事業展開を図ろうとする中堅・中小企業との産学連携を促進し、新事業・新技術の創出により地域経済の活性化を図る目的で、千葉大学西キャンパス内に平成 23 年 5 月にオープンした。

本施設内の 11 の研究室で行われている産学官共同研究の主な分野を(A)新材料開発と(B)産業応用機器開発の 2 コースに分けて見学を行った。



写真 1 内村会長の挨拶

2.2 研究会

千葉大学けやき会館において、公益社団法人日本技術士会内村好会長の開催挨拶と野田総理大臣からの本大会に向けたメッセージ披露に続いて、来賓の坂本森男千葉県副知事、熊谷俊人千葉市長の挨拶、千葉県技術士会松井隆会長の千葉県技術士会の活動報告で研究会が始まった。(写真 1、2)

2.2.1 特別講演

「中小企業支援施策について」

～ものづくり支援策を中心に～ 経済産業省

中小企業庁 創業・技術課長 佐藤文一氏

講演内容は「企業の各種ものづくり事例」について述べられ、「ものづくり中小企業をとりまく現状」と「技術開発支援施策」について国内産業の強みを生かした戦略的基盤技術高度化支援事業について解説された。特に、中小企業の創意工夫への取り組みを応援し、技術士に対してその役割に期待する旨の講演であった。

2.2.2 基調講演

「千葉大学サイエンスパークセンターを中心とした最新の産学連携」 千葉大学副学長・産学連携知的財産機構長 野波健蔵氏

冒頭に「未曾有の災害に襲われた我が国は、自然の猛威に慄然とし、日常生活を豊かにしてくれていた科学技術の脆弱さと、科学技術がいとも簡単に我々の健康を脅かす存在に再認識した。今こそ、我々は、科学技術と社会のあり方について考える必要がある。」と述べられ、科学技術の発展に対する国民の期待とわが国の現状を述べ、千葉大学の取り組みや CSPC が「産学官連携による新事業・新技術の創出拠点」としての開設経緯、成果目標、組織運営等詳細に述べられた。CSPC には中小企業にも参加促進を技術士にコーディネーターとしての役割を期待していることを強調された。

2.2.3 企業事例紹介 (その 1)

「中小企業と技術士の連携」

株式会社坂戸工作所 代表取締役 坂戸誠一氏

株式会社坂戸工作所は、昭和 20 年に創業し、建設機械修理、機械加工業を営んでの創設であり、昭和 40 年ごろから需要を見て建設解体サービス始めた。昭和 53 年に技術士の最高顧問を迎え、従来技術の見直し、当時のニーズ・シーズを判断して、グローバルな資材調達、壊れない物作り、10 倍増の生産技術開発等、同社独自の経営革新に取り組んで今日の企業継続に繋がった。

さらに、中小企業は、スピード感を持ってイノベーションを進めなくてはならない。従って、技術支援を着実にを行うためにも、関東一円ぐらいの「技術士人材リスト」の作成をお願いします、と述べられ、中小企業活性化に向けた大変有益な事例講演であった。

2.2.4 事例紹介 (その2)

「バイオ医薬のリーディングカンパニーへの挑戦」～千葉から世界へ、わが社における産学官連携～ ジーンフロンティア株式会社

取締役 最高執行責任者(COO) 海老原隆氏

ジーンフロンティア株式会社は、2010年10月設立され、現在11名の社員で柏東大ベンチャープラザにおいて事業展開を行っている企業である。

事業内容は、①タンパク質・抗体関連サービス事業、②抗体医薬事業、③新規バイオ医薬事業を柱に、次世代抗体医薬開発・技術革新のためのソリューションを提供し、ベンチャー企業として逞しく世界に発信する意気込みを感じられた。

2.2.5 事例紹介 (その3)

「環境浄化装置の開発」～ばね式フィルターの産学官共同研究による成果～ 株式会社モノベエンジニアリング代表取締役 工学博士 物部長順氏

物部社長は、会社創設以来の数多い技術体験を基に開発したばね式フィルターについて、壇上のデモ機による性能実験、映像による①ばね式フィルターの原理や性能の紹介、②ばね式フィルターの産学官共同研究による成果、③産学官と千葉県技術士会との共同研究による機械装置例、④各種共同研究の認定等の成果説明など、社長の人格が伝わるような丁寧な講演を拝聴し、発想の豊かさやイノベーションの実践を強く感じ取れた。

2.2.6 技術士会の支援事例紹介 (その4)

「千葉県技術士会における支援事例」

千葉県技術士会 技術士(総合技術監理/化学部門) 廣川一男

事例紹介の最後には、①20周年を迎えた千葉県技術士会、②技術士の支援業務、③千葉県技術士会の支援事例等の実施内容の説明を行った。

最後に中小企業交流実行委員会川口賢良委員長から閉会の挨拶があり、研究会が終了した。



写真2 坂本千葉県副知事(左),熊谷千葉市長(右)

3 交流会

交流会は千葉大学けやき会館3階レセプションホールで開催された。日本技術士会内村好会長の交流会開催挨拶に続き千葉県技術士会松井会長から若井康彦衆議院議員のメッセージ披露、また来賓のご挨拶を影山美佐子千葉県商工労働部次長、並びに中野康男千葉テレビ放送(株)代表取締役社長のお二方より頂いた。次いで、坂戸誠一千葉県中小企業団体中央会会長の乾杯の発声により交流会が始まった。まず、松井勇日本大学生産工学部長並びに一松政夫千葉県庁技術士会幹事長からショートスピーチを頂き、次いで来賓の野波 健蔵千葉大学副学長、太田雅美千葉銀行法人営業部長、鈴木大生千葉信用金庫地域推進部部長が紹介された。

千葉県酒造組合ご提供の「千葉のお酒」40銘柄の試飲もあって和やかに宴が続く中、次回開催県の小野寺昭夫埼玉県支部支部長から力強い抱負が述べられた。株式会社関鉄工所の関恒雄代表取締役による中締め、さらに荒野詰也千葉県技術士会副会長から千葉大会開催のお礼挨拶、最後はふたたび川口賢良中小企業交流実行委員会委員長の閉会挨拶があつて全てのプログラムが終了した。

4 おわりに

千葉県技術士会は、平成4年10月に設立、今年20周年を迎えた。この記念すべき年に開催された本大会にご参集頂いた多数の企業、関係官庁・団体の皆様と技術士が一同に会し「みんなでチャレンジ・元気な企業～産学官と技術士の協働により千葉から新しい風を～」のテーマについて共に考え、研鑽でき、今後の中小企業支援に向け、新たにスタートする研究会・交流会になったと考える。中小企業交流実行委員会

公益社団法人日本技術士会 提携 千葉県技術士会
松井隆、古西義正(文責)